

研究成果の刊行に関する一覧表（論文のみ）：

（研究代表者）

小池司朗，小山泰代（2020）「市区町村別世帯数の将来推計の試みー静岡県市区町を対象として」、『人口問題研究』，第76巻，第3号，pp.327-339.

小池司朗（2020）「過去の国勢調査における地域人口統計の利活用可能性」、『Estrela』，第318号，pp.2-7.

小池司朗（2020）「日本の労働力人口の将来推計と今後の課題」、『運輸と経済』，第80巻，第12号，pp.12-19.

小池司朗，貴志匡博（2020）「国勢調査と住民基本台帳から得られる人口移動傾向の差異の検討」、『人口問題研究』，第76巻，第4号，pp.533-550.

小池司朗(2021)「震災に伴う日本人の人口移動」、井上孝・和田光平編著『自然災害と人口』、原書房、pp.141-161.

小池司朗(2022)「地域別将来人口の見通しとその影響」松原宏・地下誠二編著『日本の先進技術と地域の未来』、東京大学出版会、pp.3-29.

小池司朗(2021)「日本の地域別将来人口の見通し」、『人口問題研究』77巻2号、pp.85-100.

小池司朗、菅桂太(2021)「2015年国勢調査の人口移動集計における不詳按分と按分結果の検証」、『人口問題研究』77巻4号、pp.293-315.

小池司朗(2021)「東京における人口構造の変化と将来見通し」、『運輸と経済』、81巻12号、pp.13-18.

小池司朗(2022)「新型コロナウイルス感染拡大に伴う東京圏の人口移動傾向の変化」、『ESTRELA』、335号、pp.14-19.

小池司朗（2022）「近年における外国人人口の地域分布」『人口問題研究』78巻3号、pp.419-430.

小池司朗（2022）「コロナ禍と人口動態の変化ー東京圏における国内人口移動傾向の変化を中心としてー」『ガバナンス』258号、pp.14-16.

小池司朗（2022）「新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内人口移動傾向変化の人口学的分析ー東京圏を中心としてー」『人口問題研究』78巻4号、pp.509-527.

（研究分担者）

林玲子(2019)「中日两国护理需求与供给比较（介護需要・供給の日中比較）」『張季風編『少子高齢化社会：中国日本共同应对的路径与未来』（中国語、王偉訳）』社会科学文献出版社 pp.155-166

林玲子(2020)「高齢者の移動ー国勢調査，国民生活基礎調査と人口移動調査からの把握」『人口問題研究』第76巻第3号、pp.394-415.

林玲子(2020)「外国人の死因ー日本人・本国人との比較」『人口問題研究』第76巻第2号、

pp.218-239.

林玲子(2021)「戦前の在外邦人数統計」『人口問題研究』第77巻第3号、pp.259-265.

林玲子・別府志海(2021)「新型コロナウイルス感染症流行に応じた主要国の死亡統計早期公開について」国立社会保障・人口問題研究所 Working Paper Series, No.50

林玲子(2022)「移民政策のための統計基盤」『移民政策研究』第14号、pp.23-39, 移民政策学会編、明石書店

林玲子(2022)「難民の健康—その論点」『国際保健医療』37巻3号、pp.128-131

小島克久(2019)「高齢者が将来の転居を志向する要因に関する研究—「第8回人口移動調査」(2016年)を用いた個人および地域属性の分析」『人口問題研究』第75巻3号 pp.147-168.

小島克久(2020)「台湾の歴史と思想」『上村泰裕編著『新世界の社会福祉 第7巻東アジア』』旬報社

小島克久(2022)「高齢者の生活と社会」『社会福祉学習双書 2022 第3巻老人福祉論』(編)『社会福祉学習双書』編集委員会 全国社会福祉協議会出版部

小島克久(2023)「高齢者の生活と社会」『社会福祉学習双書 2023 第3巻老人福祉論』(編)『社会福祉学習双書』編集委員会 全国社会福祉協議会出版部

増田雅暢, 小島克久, 李忻(編著)(2021)『よくわかる社会保障論』法律文化社

万琳静, 小島克久(2022)「介護保険パイロット事業等からみる中国の高齢者介護制度」『社会保障研究』第6巻4号, pp.454-468

岩澤美帆, 菅桂太, 鎌田健司, 余田翔平(2021)「市区町村別合計出生率の推定—全国および都道府県を標準とした間接標準化法による試み—」『人口問題研究』, 第77巻第4号, pp.316-334.

岩澤美帆(2021)「家族政策の出生力への影響を考える」上村泰裕・金成垣・米澤旦編著『福祉社会学のフロンティア』ミネルヴァ書房, pp.107-153.

岩澤美帆, 小池司朗, 林玲子, 別府志海, 是川夕(2021)「新型コロナウイルス感染拡大と人口動態: 何が分かり、何が起きるのか」国立社会保障・人口問題研究所 Working Paper Series, No.51.

岩澤美帆(2022)「新型コロナウイルス感染拡大と出生減のゆくえ」『ESTRELA』No.335, pp.8-13.

岩澤美帆・菅桂太・鎌田健司・余田翔平・金子隆一(2022)「出生力の地域差に対する結婚力効果と夫婦出生力効果—対数線形モデルを利用した市区町村別合計出生率の分解—」『人口問題研究』, 第78巻第1号, pp.78-105.

千年よしみ(2019)「人口移動調査における欠票状況の分析」『人口問題研究』第75巻第3号

pp.216-236.

千年よしみ(2019)「人口学」『よくわかる家族社会学』ミネルヴァ書房 pp.138-139.

千年よしみ(2020)「ミックスモード調査における郵送・ウェブ回答の回答率・回答者属性・項目無回答率の比較—住民基本台帳からの無作為抽出による SOGI をテーマとした調査から—」『人口問題研究』第 76 巻第 4 号, pp.467-487.

千年よしみ(2021)「親・成人子との居住距離と支援関係—親からの住宅支援、支援ニーズ、父系規範に着目して—」『人口問題研究』第 77 巻第 4 号, pp.358-375.

Chitose, Y. (2021) “Remain or Return? Return Migration Intentions of Brazilian Immigrants in Japan” *International Migration* 60(4): 178-192.

千年よしみ(2021)「ミックスモード調査における郵送・ウェブ回答の回答分布の比較—住民基本台帳からの無作為抽出による SOGI をテーマとした調査から—」『人口問題研究』第 77 巻第 1 号, pp.1-20.

守泉理恵(2019)「日本における無子に関する研究」『人口問題研究』第 75 巻第 1 号 pp.25-54

守泉理恵(2019)「近年における『人口政策』—1990 年代以降の少子化対策の展開」比較家族史学会監修、小島宏・廣嶋清志編『人口政策の比較史—せめぎあう家族と行政』pp.197-221

守泉理恵, 中村真理子 (2021)「日本における結婚・出産とキャリア形成」永瀬伸子・寺村絵里子編『少子化と女性のライフコース』原書房、pp.67-93

菅桂太(2020)「都市国家シンガポールにおける人口変動の民族格差」『人口問題研究』第 76 巻第 4 号 pp.510-532.

菅桂太(2020)「就業寿命—戦後わが国における長寿化, 晩婚・未婚化と就業パターン」, 津谷典子他編著『人口変動と家族の実証分析』慶應義塾大学出版会, (第 4 章, pp.111—154).

菅桂太(2020)「市区町村別生命表利用上の課題」, 西岡八郎・江崎雄治・小池司朗・山内昌和編『地域社会の将来人口—地域人口推計の基礎から応用まで』東京大学出版会, 2020 年, pp.179—204.

Suga, K. (2020) “Lowest-Low Fertility in Singapore: Current State and Prospects,” Shigeki Matsuda ed. *Low Fertility in Japan, South Korea, and Singapore: Population Policies and Their Effectiveness*, Springer: Singapore, pp.39-66.

菅桂太 (2022)「シンガポールにおける出生力転換、超少子化と人口政策—主要民族の差異と類似性—」『人口問題研究』第 78 巻第 2 号、pp.270-292

菅桂太 (2023)「世帯動態調査における非標本誤差の動向：50 歳未満離家経験者は減少しているのか？」『人口問題研究』第 79 巻第 1 号、pp.37-63.

中川雅貴(2019)「日本老年人居住地迁移及其内涵養」张季风 主編 胡澎顺・丁英顺 副主編

- 『少子高齢化社会：日本中国共同应对的路径予未来』中国社会科学文献出版社 pp.72-81
- 中川雅貴(2019)「非大都市圏出生者におけるUターン移動の変化に関する分析」『人口問題研究』第75巻第4号 pp.381-400
- Nakagawa, M. (2019) “Japan is ageing faster than we think.” *East Asia Forum Quarterly*, 11(3), pp.26-27
- 中川雅貴(2019)「外国人人口の分布と移動」小崎敏男・佐藤龍三郎 編著『移民・外国人と日本社会』原書房, pp.57-79
- 中川雅貴 (2020)「外国人集住地区の分布と特性—国勢調査基本単位区レベルの小地域データを用いた分析—」『経済学論叢』第71巻第4号 pp.331-355
- 中川雅貴(2021)「健康格差と地域」金子隆一・石井太 編著『長寿・健康の人口学』, 原書房, pp.125-150.
- 中川雅貴, 小池司朗 (2022)「夫婦の出生歴と居住地移動—人口動態調査出生票を用いた分析—」『人口問題研究』第78巻第2号, pp.310-326.
- 石井太(2020)「出生水準が長期的な人口動向に及ぼす影響について」, 津谷典子他編著『人口変動と家族の実証分析』慶應義塾大学出版会, pp.27-46.
- 石井太 (2021)「死亡分析の方法 (生命表と死亡モデル)」,金子隆一・石井太編著『長寿・健康の人口学』原書房, pp.25-42.
- 石井太(2021)「わが国の寿命の将来」,金子隆一・石井太編著『長寿・健康の人口学』原書房, pp.171-189.
- 石井太, 守泉理恵, 岩澤美帆, 中村真理子(2021)「国際的視点から見た公的将来人口推計の科学的基礎と推計手法」『人口問題研究』, 第77巻第4号, pp.335-357.
- 石井太(2022)「新型コロナウイルスが死亡に与えた影響」『Estrela』第335号 pp.2-7.
- Saito, Y., Ishii F., J.-M. Robine (2021) “Centenarians and Supercentenarians in Japan,” Maier, Heiner, B. Jeune, J. W. Vaupel eds. *Exceptional Lifespans*, Springer, pp.125-145.
- 都築英莉, 石井太(2022)「フレイルティモデルを用いたわが国の悪性新生物コーホート死亡率の動向の検討」, 厚生指針, 第69巻第11号, pp. 30-35.

(研究協力者)

- Oizumi, R. and Inaba, H. (2021) “Evolution of heterogeneity under constant and variable environments”, *PLOS ONE* 16(9) :e0257377.
- 大泉嶺 (2022)「タイプ別再生産数で見る日本の人口減少」、『人口問題研究』78巻1号、pp.106-117
- Oizumi Ryo (2022) *Population Dynamics Based on Individual Stochasticity*, SpringerBriefs in Population Studies, Springer, DOI: 10.1007/978-981-19-3548-0
- Oizumi Ryo, et al. (2022) “Sensitivity analysis on the declining population in Japan: Effects of

prefecture-specific fertility and interregional migration”, *PloS One*, Public Library of Science, DOI: 10.1371/journal.pone.0273817.

鎌田健司, 小池司朗, 菅桂太, 山内昌和 (2020) 「都道府県別にみた将来の人口増加率の要因分解」, 『人口問題研究』, 第 76 巻, 第 2 号, pp.240-264.

鎌田健司, 小池司朗, 菅桂太, 山内昌和 (2020) 「市区町村別にみた将来の人口増加率の要因分解」, 『人口問題研究』, 第 76 巻, 第 4 号, pp.488-509.

鎌田健司 (2021) 「自然災害と地域の出生力」, 井上孝・和田光平井上孝・和田光平編著『自然災害と人口』, 原書房, pp.119-139.

鎌田健司, 小池司朗, 菅桂太, 山内昌和 (2022) 「都道府県別にみた人口増加率の要因分解: 1950~2015 年 (1) 総人口の分析結果」, 『人口問題研究』 78 巻 1 号, pp.156-176

KAMATA K., KOIKE S., SUGA K. and YAMAUCHI M. (2022) “Demographic Components of Future Population Growth Rates by Municipalities in Japan: Supplementary Materials”, *IPSS Working Paper Series No.60*, pp.1-25.

小山泰代 (2020) 「平均世帯人員の減少要因の検討」, 『人口問題研究』, 第 76 巻, 第 3 号, pp.293-310.

小山泰代 (2023) 「地域における人口減少下の世帯変動」『人口問題研究』 79 巻 1 号, pp.3-20.

中村真理子 (2022) 「日本における婚前交渉の半世紀: 未婚者の性行動はいかに変化してきたのか?」, 『人口問題研究』 78 巻 3 号, pp. 388-418.

中村真理子 (2022) 「性的マジョリティの初交経験: 日本社会における過去半世紀の変遷」, 小島宏・和田光平編著『セクシュアリティの人口学 (人口学ライブラリー 2 2)』, 原書房, pp. 27-51.

別府志海・石井太(2021) 「わが国における震災と死亡」, 井上孝・和田光平編著『自然災害と人口』 原書房, pp.75-98.

堀口侑 (2022) 「日本のモデル生命表の開発と地域別生命表推計への応用—Flexible Model の修正に基づいて—」, 『人口学研究』 58 号, pp.13-28.

吉田航 (2022) 「企業データの計量分析からみる新卒採用のジェンダー不平等: WLB 施策と企業の経営状況との関連から」, 松永伸太郎・園田薫・中川宗人著『21 世紀の産業・労働社会学: 「働く人間」 へのアプローチ』, ナカニシヤ出版, pp.21-35.